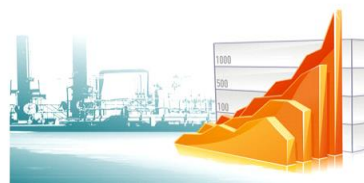


ぎふ経済レポート



令和7年4月分
岐阜県商工労働部

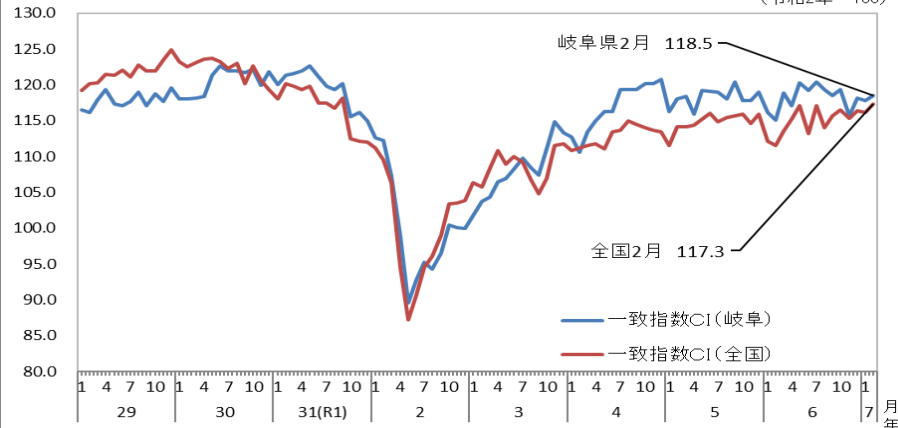
※企業等へのヒアリングは4月23日～25日を中心に実施し、5月29日時点で作成。

景気動向

○2月の景気動向指数(一致指数)は、118.5
で前月比0.7ポイント上昇となった。
○3月の県内中小企業の景況感は、▲24.0で
前月比▲3.0ポイントとなった。

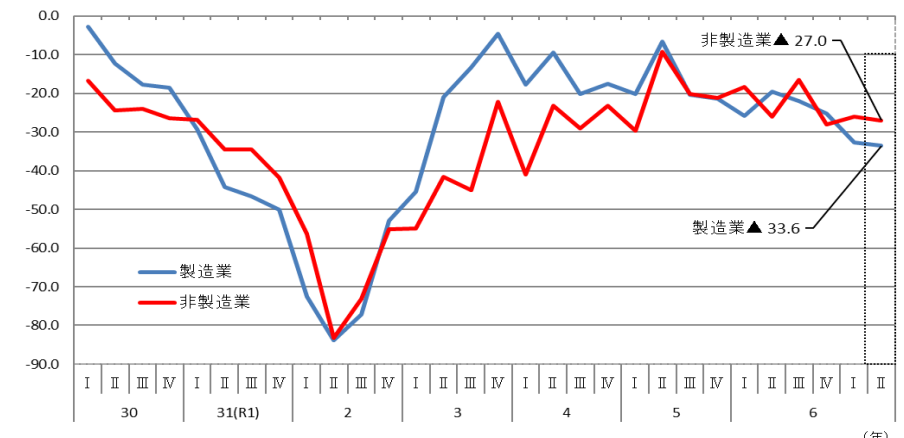
○4-7月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
▲0.8ポイント、非製造業で同▲0.9ポイントと
なった。売上高DI見通しは、製造業で前期比
▲7.2ポイント、非製造業で同▲0.2ポイントと
なった。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (令和2年=100)



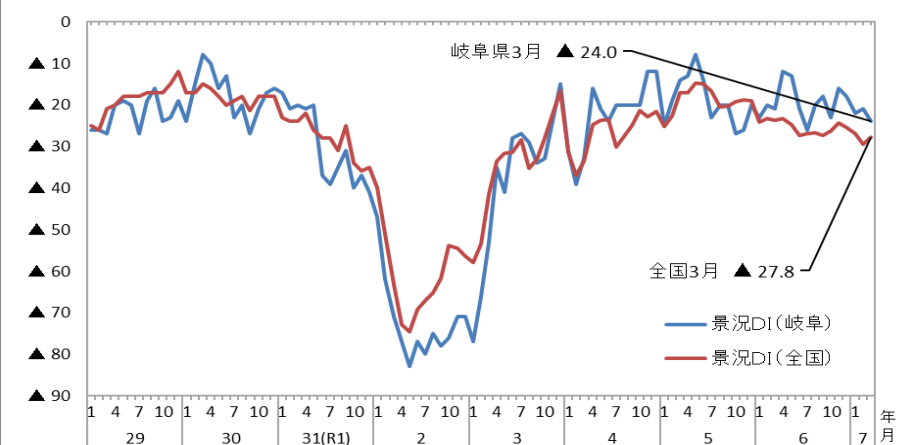
資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



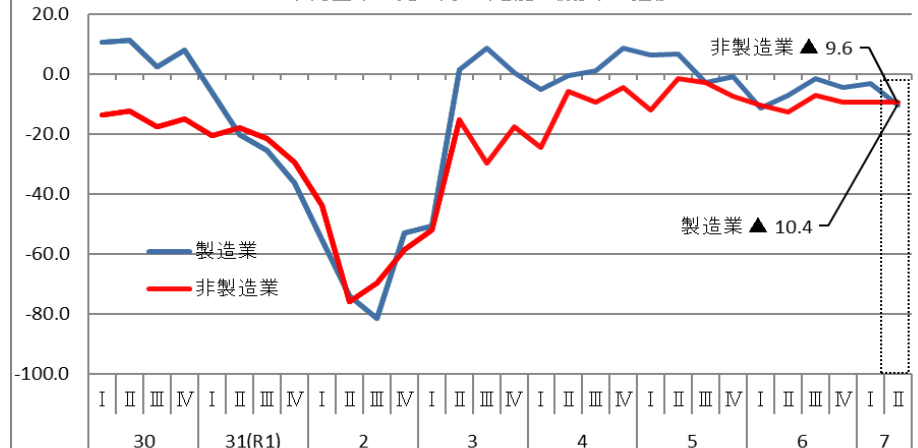
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

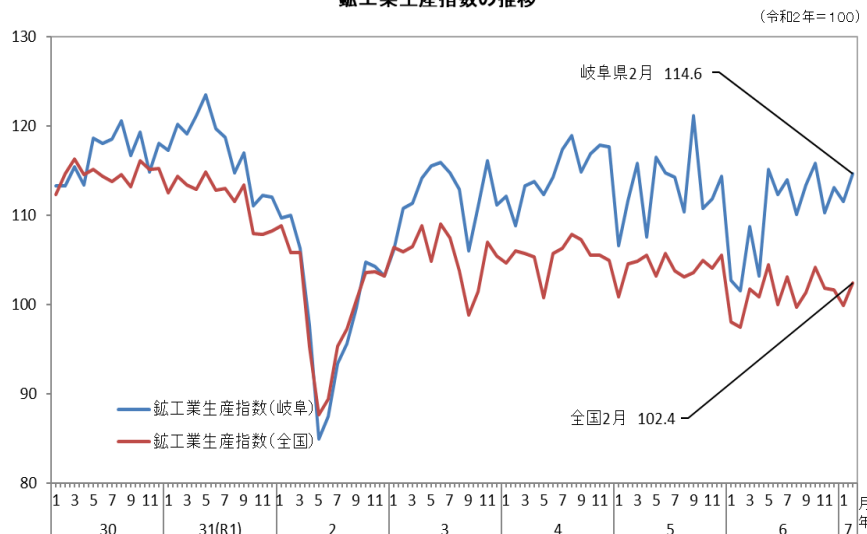
製造業

○2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、114.6で前月比2.8%上昇となった。

○産業別の前月比では、化学工業、プラスチック製品、金属製品、電気機械、非鉄金属で上昇、鉄鋼業で同率となった。一方で、輸送機械、はん用、窯業・土石で低下した。

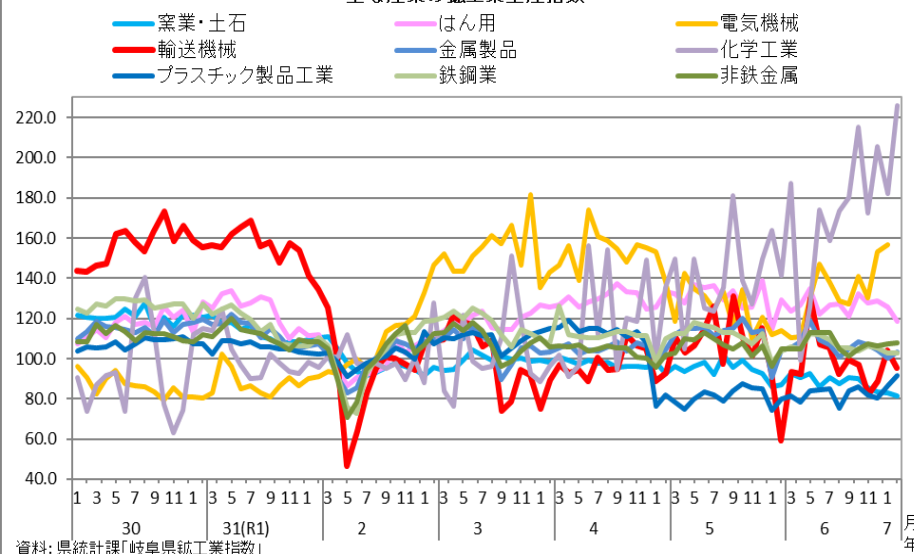
○2月の主な産業の指数は、化学工業で前月比23.8%、プラスチック製品で同5.9%、金属製品で同2.8%、電気機械で同2.5%、非鉄金属で同0.7%上昇、鉄鋼業で同率となった。一方で、輸送機械で同▲8.3%、はん用で同▲5.7%、窯業・土石で同▲1.7%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



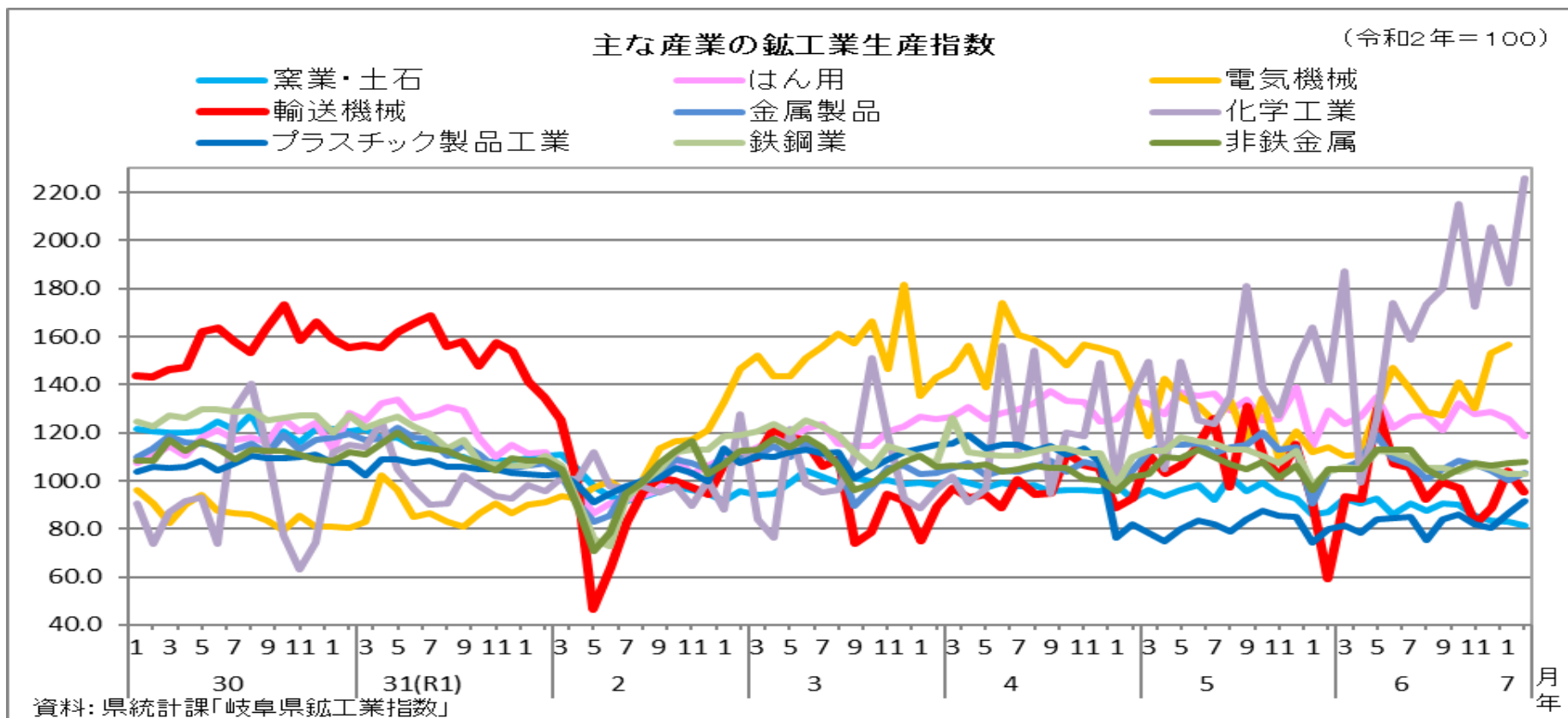
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 自動車関連が市販、OEMとも本来の売上に戻ってきており、緩やかな回復傾向にある。(輸送用機械器具)
- ◆ 自動車部品の受注量が年々減少している上に、発注元が大ロットと同じ単価を小ロットにも求めるような現状であり、自動車業界の見通しは陰しい。(輸送用機械器具)
- ◆ 利益率の少ない部品から売上好調な部品にシフトすることで、売上・利益共に増加となった。11月頃までは計画通り推移する見通し。(輸送用機械器具)
- ◆ 業界では国内需要が伸び悩む一方、中国を除く海外需要は伸びており利益を出している。(非鉄金属)
- ◆ 全ての分野で生産の回復が無く、受注量はリーマンショック以来の低レベルになっている。(生産用機械器具)

製造業－2

○2月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、木材・木製品で前月比9.1%、繊維工業で同3.6%、パルプ・紙で同1.6%上昇した一方で、食料品で同▲8.3%、家具で同▲3.5%、窯業・土石で同▲1.7%となった。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 衣料品の売上は昨年比80%程度と低調に推移している。(繊維・アパレル)
- ◆ 値上げによる販売単価の上昇を背景に、売上は前年同水準だが収益面は増益決算となる見込み。(刃物)
- ◆ コロナ禍で需要のあったDIY関連商品が5類移行とともに販売が減少、売上はダウントレンドである。特にネット通販に至っては昨年比50%ダウンとなっている。(陶磁器)

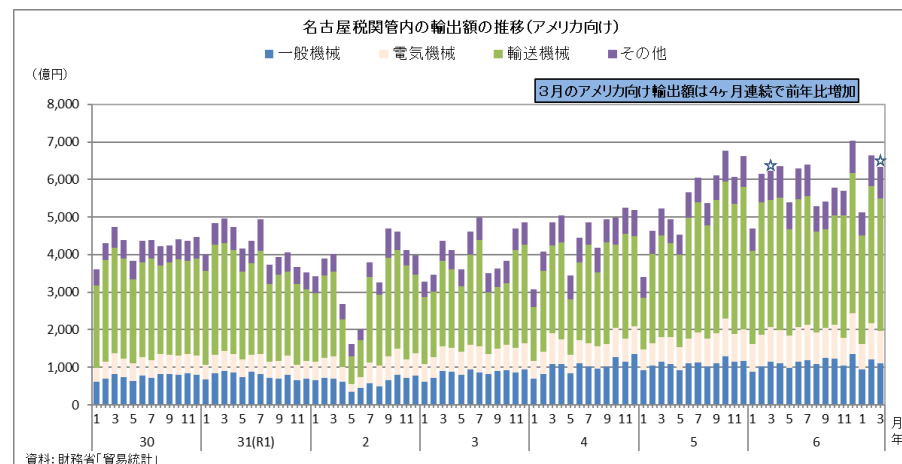
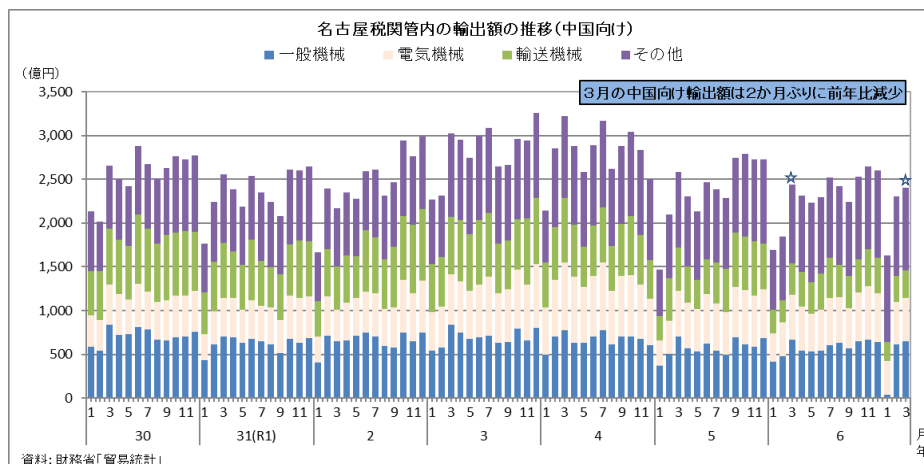
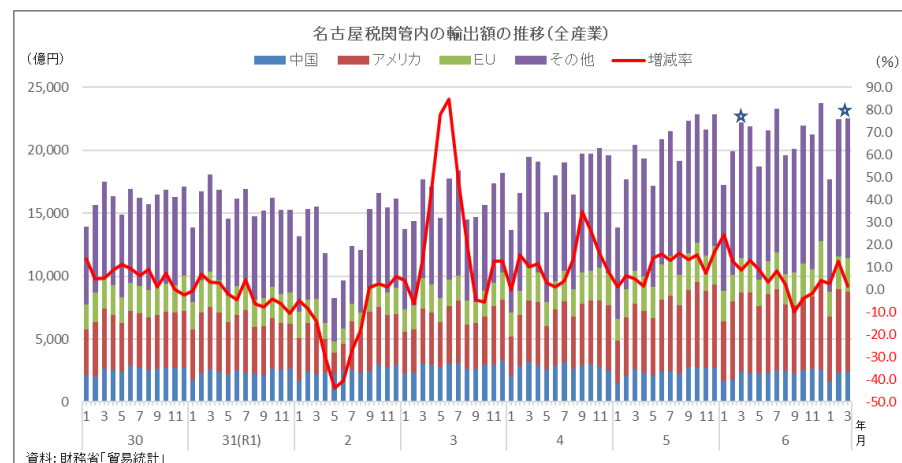
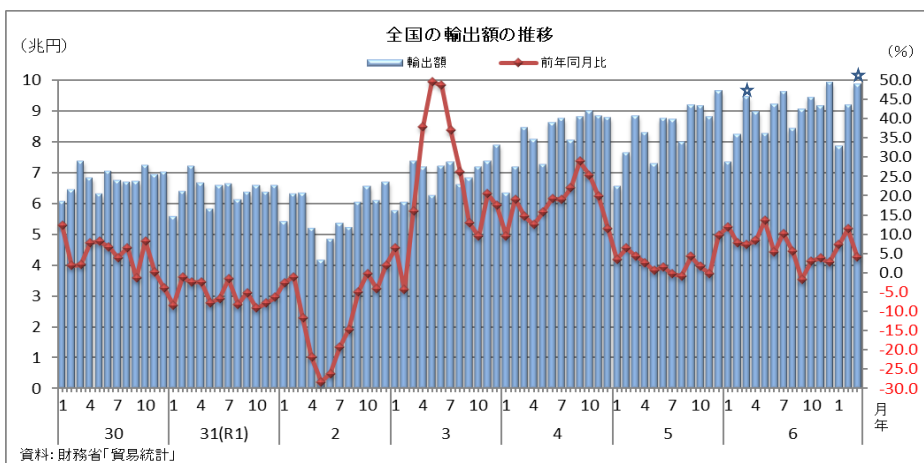
輸 出(名古屋税関管内)

○3月の輸出額(全国)は、9兆8,526億円で前年同月4.0%増加となった。

○3月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆2,538億円で前年同月比1.4%増加となり、4ヶ月連続で前年同月を上回った。

○中国向けは、全体で前年同月比▲1.3%となった。その内、輸送機械で同▲10.8%、電気機械で同▲3.7%、一般機械で同▲3.0%となった。

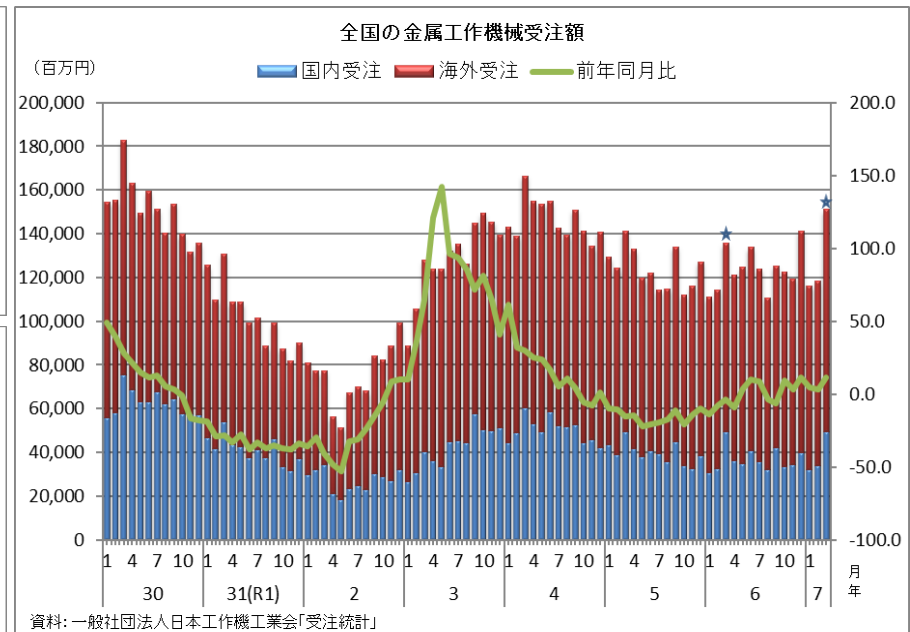
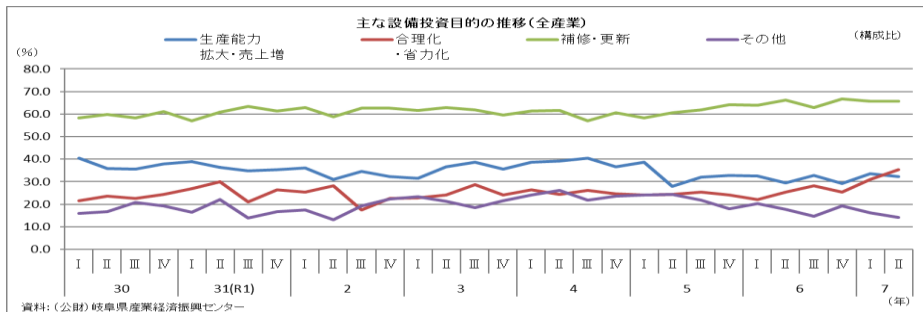
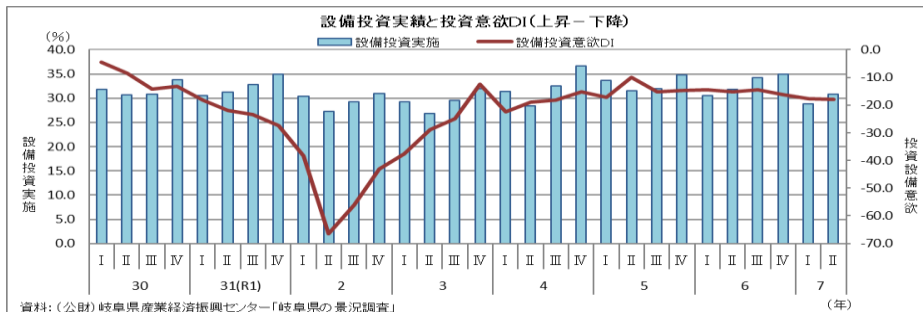
○アメリカ向けは、全体で前年同月比1.6%増加となった。その内、輸送機械で同4.4%増加した一方で、電気機械で同▲6.3%、一般機械で同▲3.6%となった。



設備投資

○4－7月期の設備投資実施見通しは前期比1.9ポイント増加した一方で、設備投資意欲DI見通しは同▲0.3ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では、「合理化・省力化」で前期比4.3ポイント増加、「補修・更新」で同率となった一方で、「生産能力拡大・売上増」で同▲1.2ポイントとなった。

○3月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比11.4%増加と6ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同17.9%増加と6ヶ月連続で前年同月を上回り、国内受注は前年同月比同率となった。



現場の動き

- ◆ 大きな動きはなく、必要最低限の設備投資については実施している印象。(金融機関)
- ◆ 20年程度使用していた塗装機が老朽化したため、今年度末には撤去を行う。(輸送用機械)
- ◆ 改修したい箇所は引き続き多いため、予算が通った箇所から順次進めていく方針。(輸送用機械)
- ◆ これまで自社で保有していたものよりも対応範囲の広い、大型の成型機を導入したことにより、新たに3社との取引が増えた。(生産用機械)

為替・原油・原材料価格の動向に伴う経済変動の影響について

- ◆ 円高傾向により、材料価格は下げ基調となっている。(輸送用機械器具)
- ◆ 原油価格の高止まりで石油製品であるポリエステル素材が前年比で増加している。価格転嫁は十分にできていない上に、値上げしたことにより販売量が落ち込んだ。(繊維・アパレル)
- ◆ ガス代等の光熱費は高止まり、原材料価格は上昇が続いているが、商品需要の薄い中での交渉となるため、価格転嫁は十分にできていない。(陶磁器)

米国による関税措置について

- ◆ 業界全体としては自動車販売市場縮小の影響により生産量の低下が想定される。(輸送用機械器具)
- ◆ 米国関税措置が当初通り実施された場合、自動車部品については下請けへのしわ寄せが懸念される。価格転嫁がうまくいってない中で現在価格からの値下げには到底応じられない。(輸送用機械器具)
- ◆ 関税率の数字だけでなく、課税の対象が自動車ひとくりなのかそうでないのか等々、現状分からないことが多いため、今後の見通しが立てられない状況。(非鉄金属)
- ◆ 業界の特徴としてリードタイムが長い影響の時間差があるとはいえ、影響予測と対応は必要だが、取引先の動きにより対応も変えなければいけないため難しい問題である。(電気機械)
- ◆ 現状では明確になっていないことが多いが、完成品及び部品の関税が大幅に上がると受注量は更に減少する可能性が高い。(生産用機械)

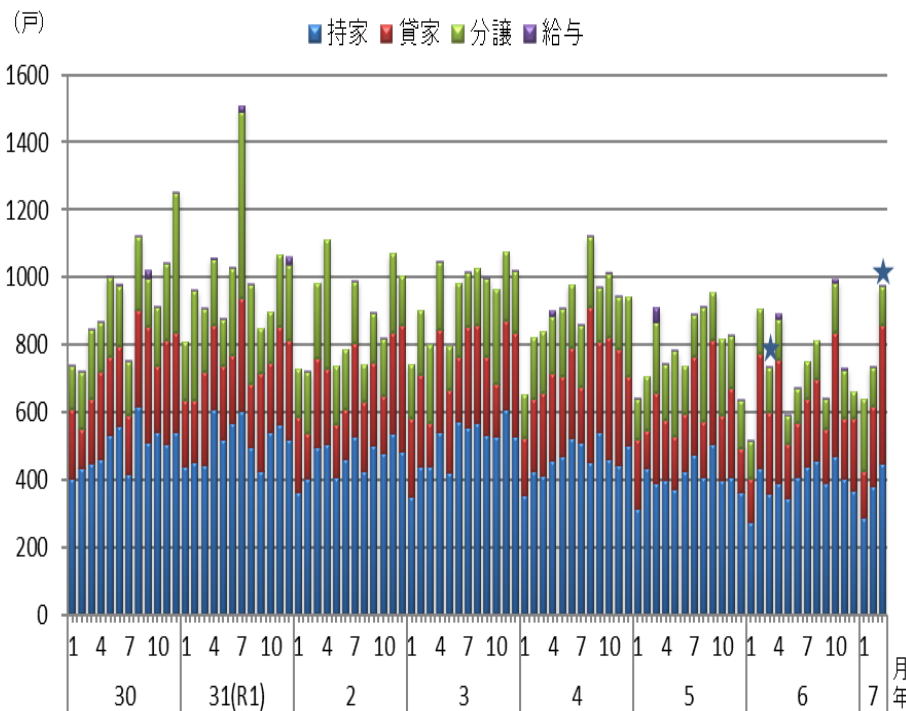
住宅・建築投資

○3月の住宅着工戸数は、前年同月比33.2%増加となった。

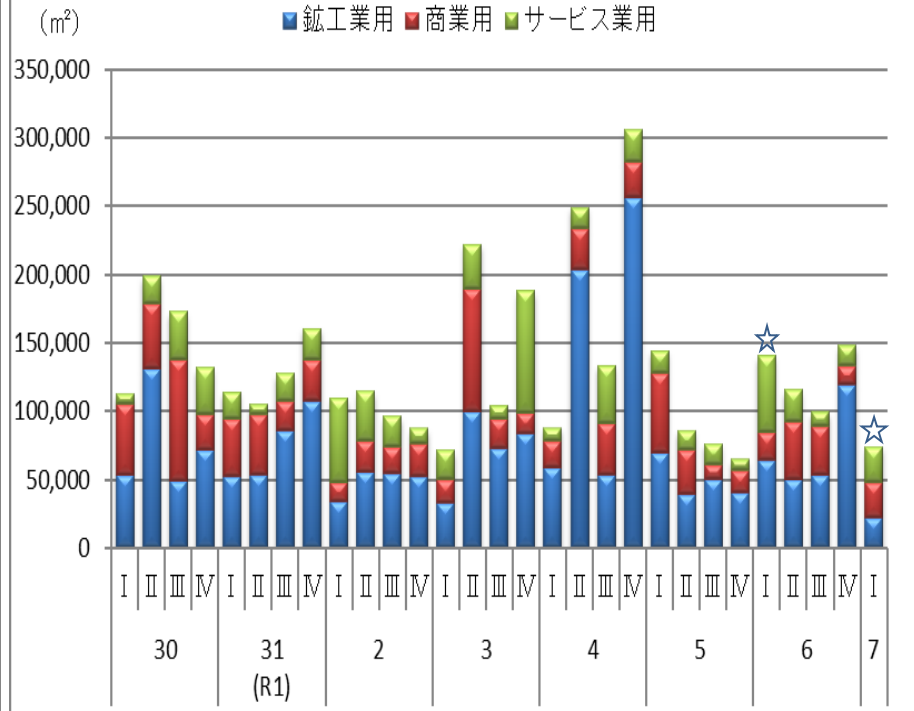
○貸家で前年同月比70.1%、持家で同24.3%増加した一方で、分譲で同▲12.0%となった。

○1－3月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同期比29.6%上昇した一方で、鉱工業用で同▲65.2%、サービス業用で同▲54.1%となり、全体で同▲47.2%となった。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)

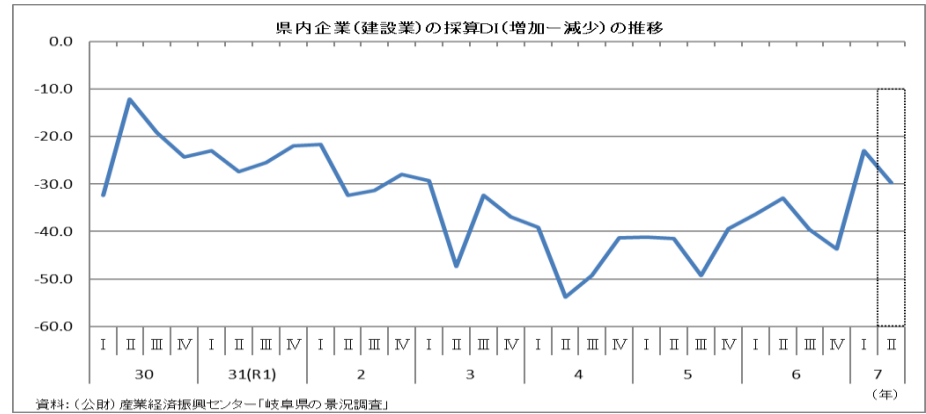
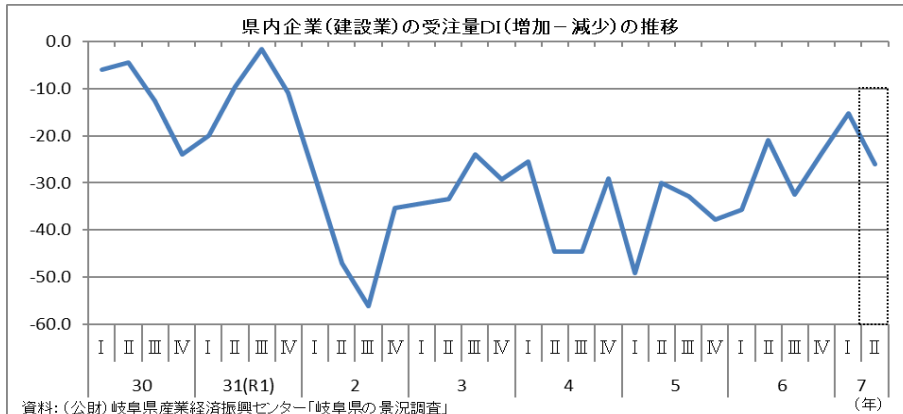
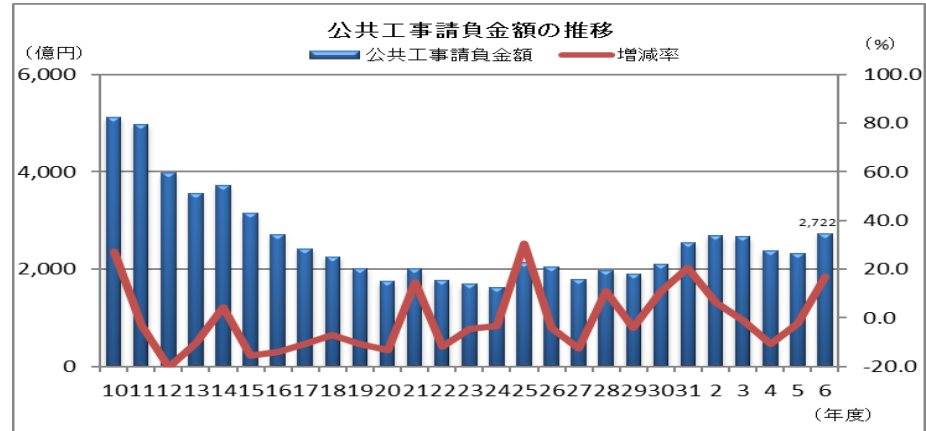
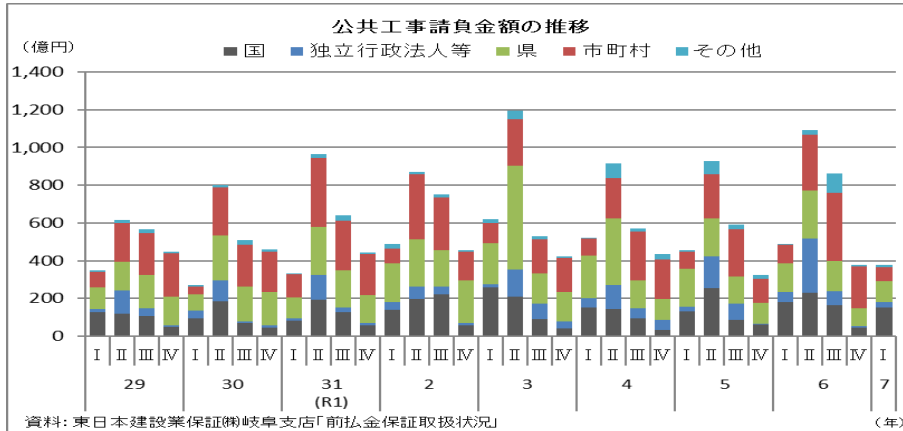


現場の動き

- ◆ 建築基準法の改正に影響された木材の駆け込み需要は5月までと思われ、反動で6月以降に木材の需要減少が心配される。(卸売)
- ◆ 展示場来場者数は減少しており、今後の新規契約見込みは厳しい状況。(住宅)
- ◆ 令和7年度の見通しは厳しく、販売価格を少しでも上げなければ採算は合わない。(卸売)

建設工事

- 1－3月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比▲43.1%、県で同▲28.8%、国で同▲16.0%となり、全体で同20.5%増加となった。
- 県内建設業の4－7月期の受注量DI実績は前期比▲10.7ポイント上昇となり、同採算DI見通しは同▲6.8ポイント上昇となった。



現場の動き

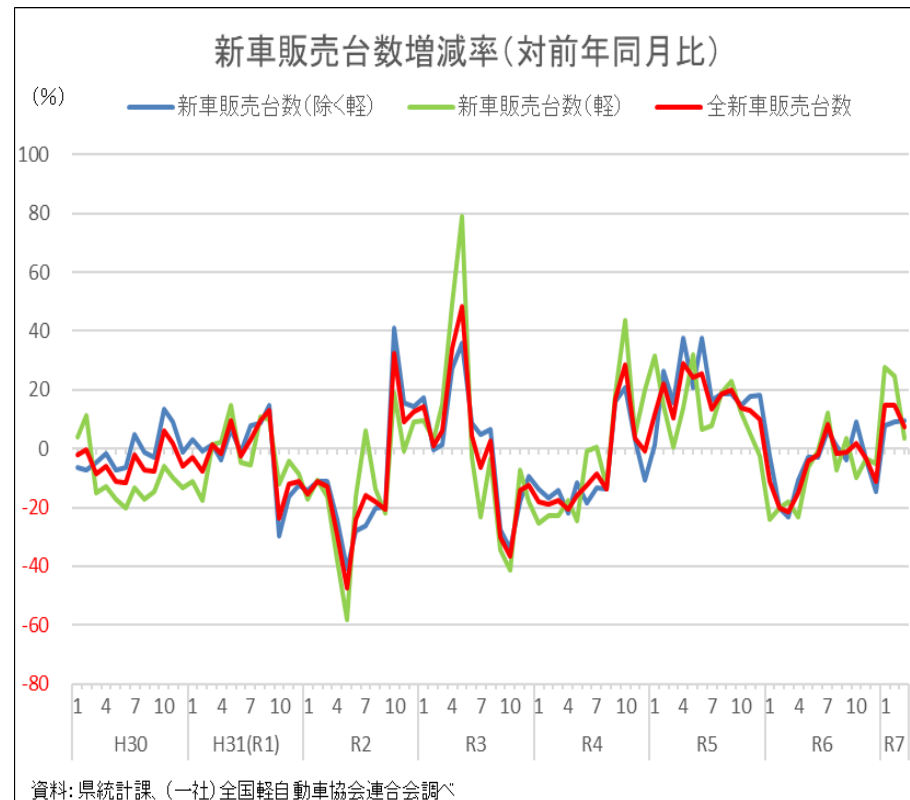
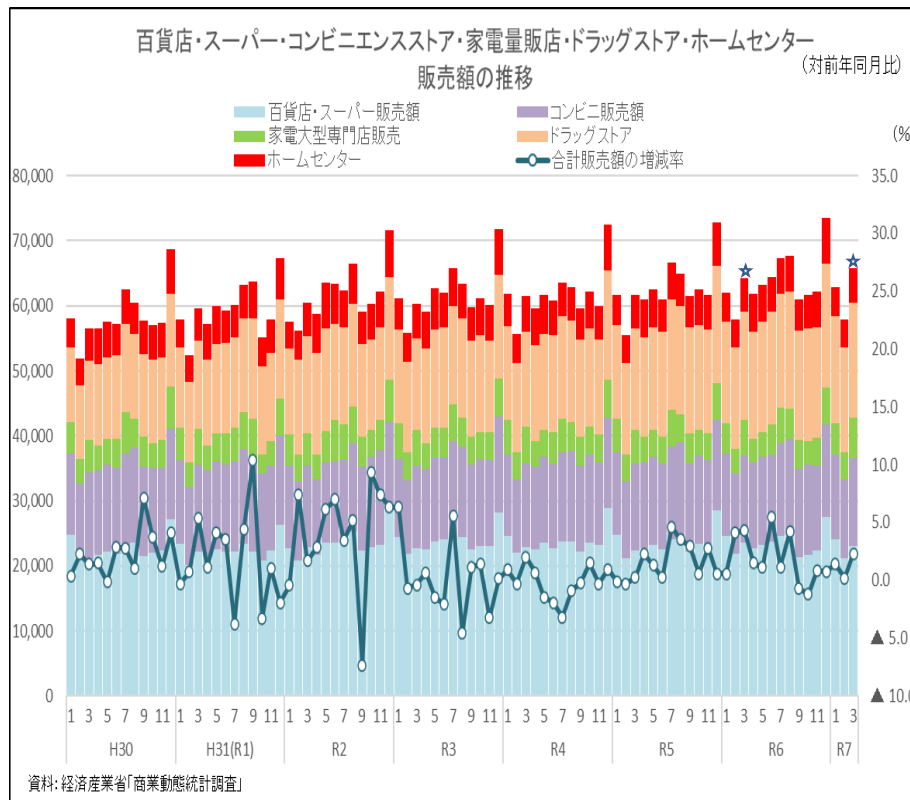
- ◆ 土木部門がやや厳しい状況にあったが、国交省関連及び岐阜県関連で受注増加に繋がり、売上・利益等は前年並みを確保できる見込み。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○3月は家電大型専門店で前年同月比10.1%、ドラッグストアで同6.1%、ホームセンターで3.3%、コンビニで同2.7%上昇した一方で、百貨店・スーパーで同▲2.5%となり、全体で同2.3%上昇となった。

○3月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比9.4%上昇と3ヶ月連続で前年同月を上回った。軽自動車は同3.6%上昇と3ヶ月連続で前年同月を上回った。合算では同7.5%上昇と、前年同月を3ヶ月連続で上回った。



現場の動き

- ◆ 生鮮食料品スーパーは引き続き好調に推移している。
- ◆ 販売促進企画を重ねつつ、共用部での催事販売や体験イベントの実施が功を奏し、売上・客数で前年を上回った。
- ◆ 今後も値上げが予測されるため、来客数が減らなければ、売上は昨対を超える見込み。(以上、県内商業施設)

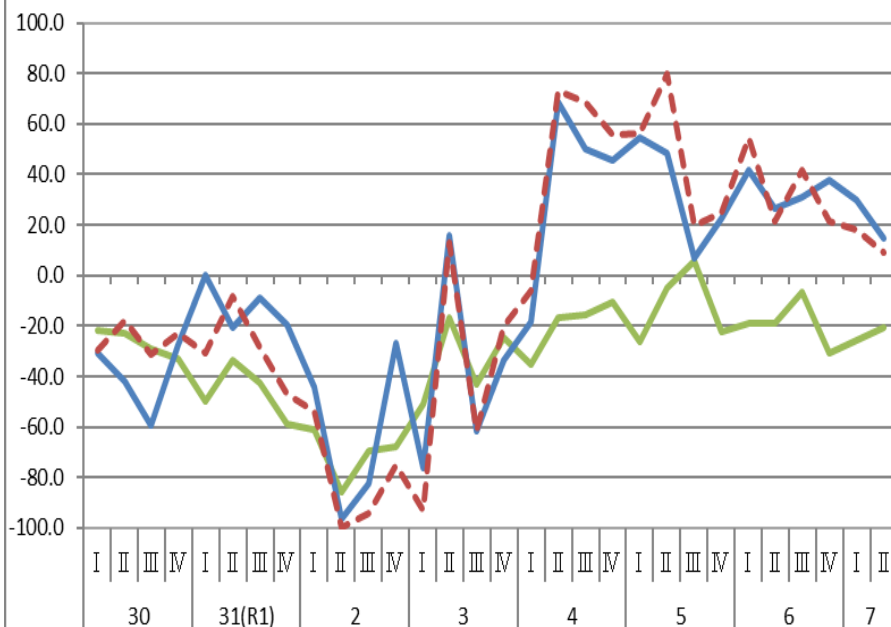
個人消費(流通・小売)－2

○4－7月期の売上高DI見通しは、小売業で前期比5.0ポイント上昇した一方で、サービス業(余暇関連)で同▲14.9ポイント、飲食店で同▲9.1ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、飲食店で前期比▲18.1ポイント、サービス業(余暇関連)で同▲5.0ポイント、小売業で同▲1.2ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店

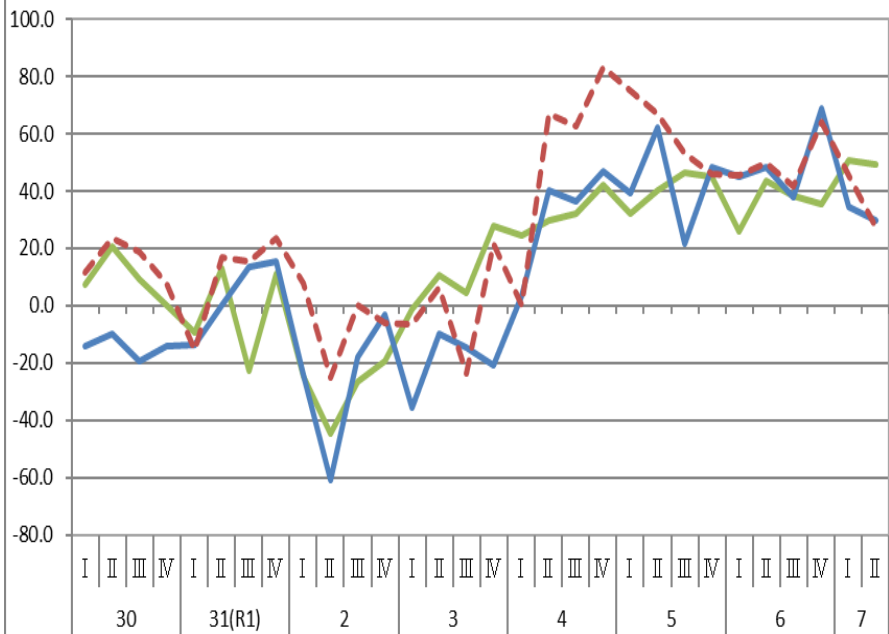


資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇－下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

現場の動き

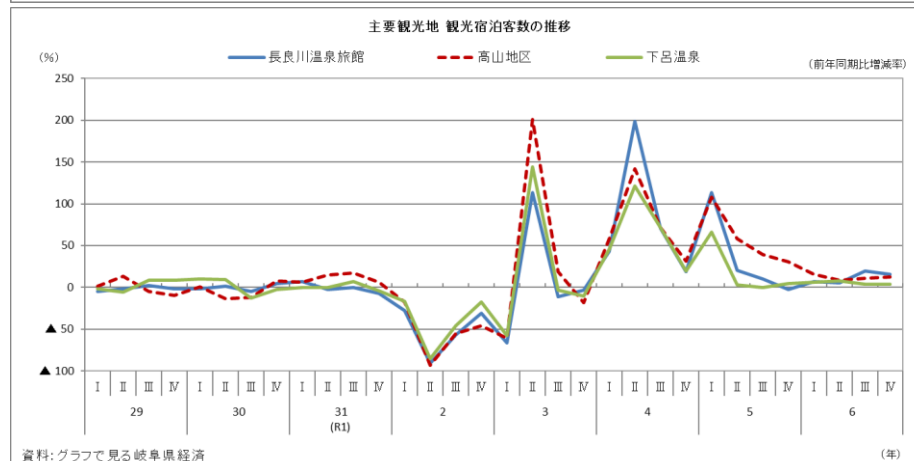
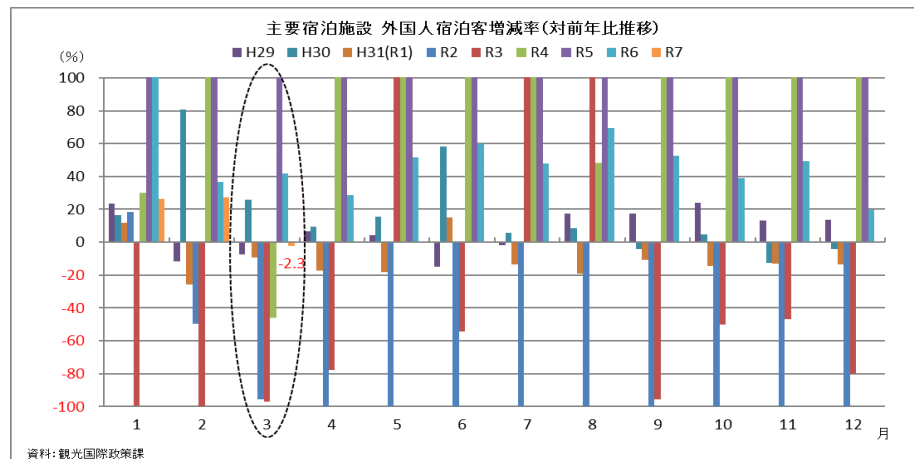
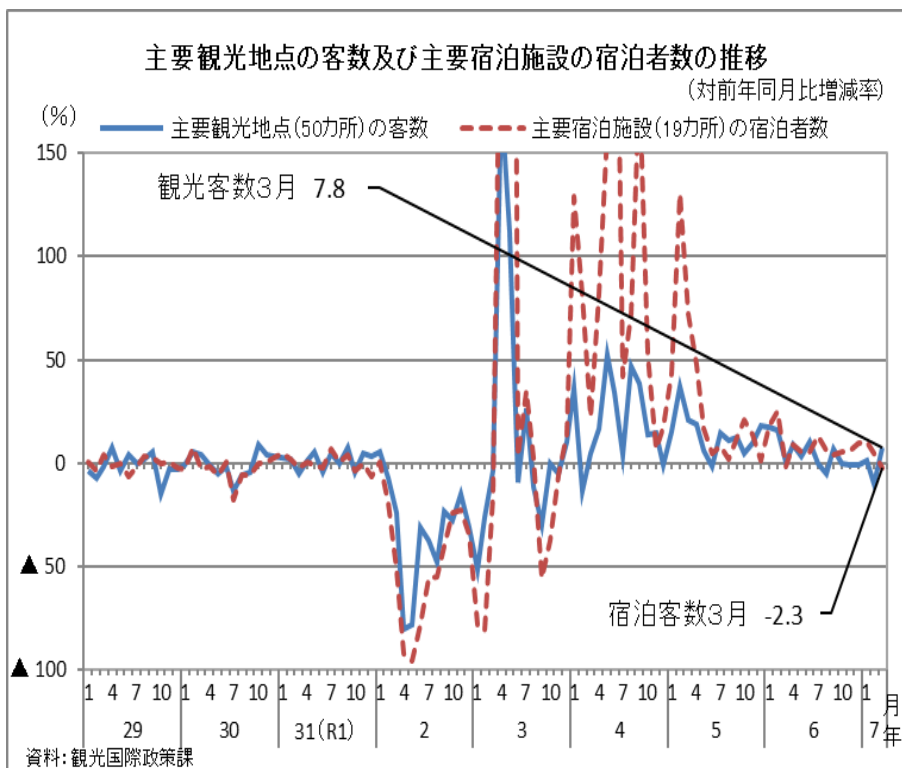
- ◆ 企業向けに消耗品の値上げをしているが、仕入れの値上げが相次ぎ、全てを転嫁することはできない。また、納入先の単価の見直しが厳しくなり売上の減少に影響している。(大垣市商店街)
- ◆ 仕入れコストが上がった分は、随時価格転嫁している。4月からは酒類の値上げ、6月には食料品の値上げで、今後も物価上昇の傾向は継続すると思われる。(多治見市商店街)

観光

○主要観光地における3月の観光客数は、前年同月比7.8%増、コロナ前の令和元年同月比では、0.9%増となっている。

○主要宿泊施設における3月の宿泊者数は、前年同月比1.9%減、令和元年同月比では、10.5%減となっている。

○3月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、13.9%増となっている。

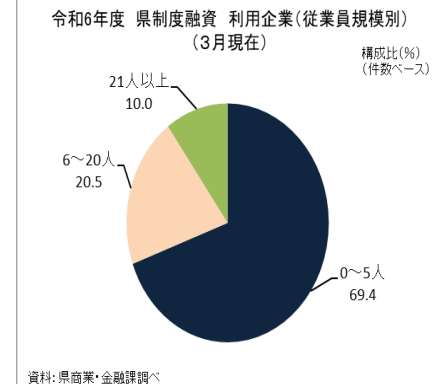
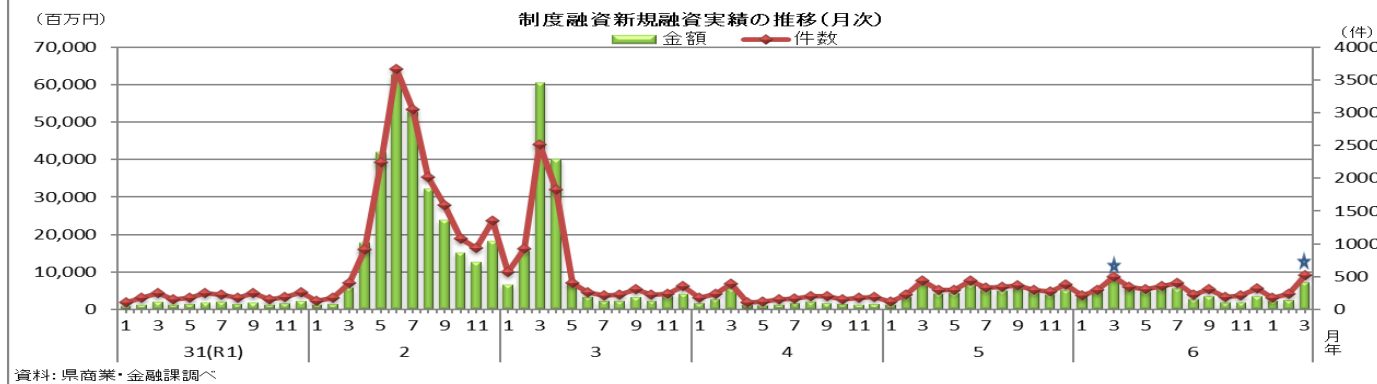
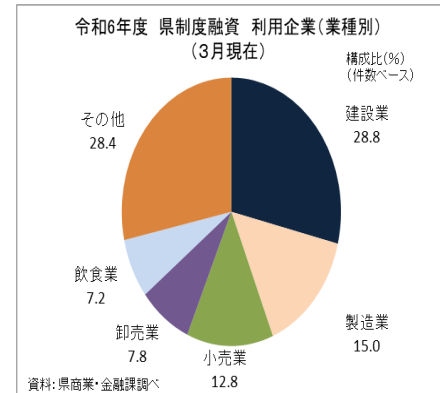
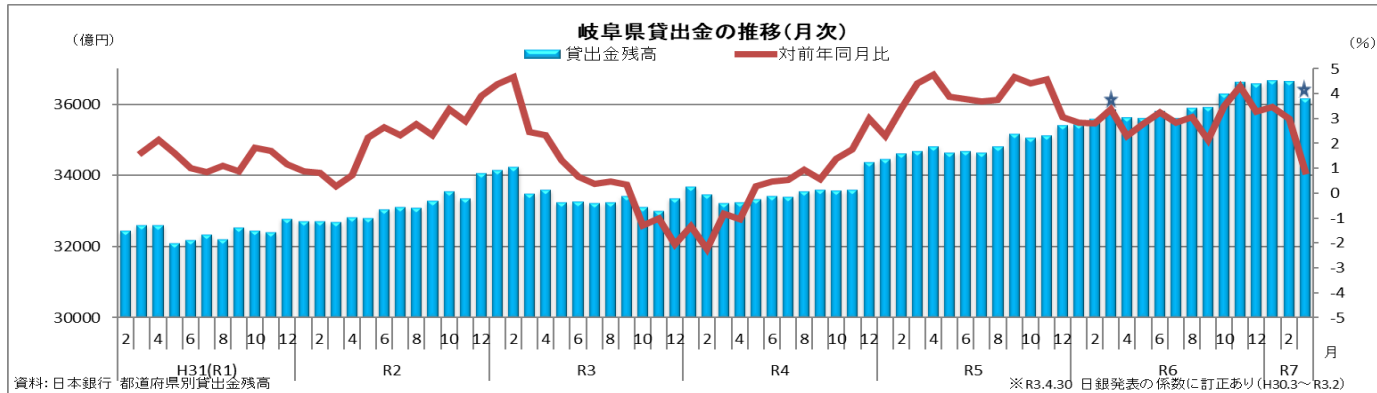


現場の動き

- ◆インバウンドが増加傾向。(高山市の複数の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難。(岐阜市、高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆原材料等の物価や仕入れ単価の高止まりが継続。(高山市、下呂市の宿泊施設)

資金繰り

- 3月の岐阜県貸出金残高は、3兆6,180億円で前年同月比0.9%増加し、35ヶ月連続で増加。
- 3月の制度融資実績は、金額が7,170百万円で前年同月比▲21.7%と8カ月連続で減少、件数は520件で同5.7%増加となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の69.4%を占めている。



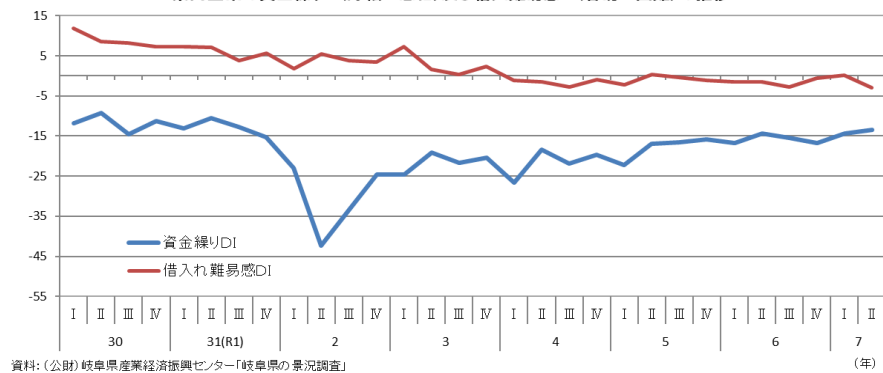
現場の動き

- ◆ 3月は年度末の資金需要により、例年通り貸出が増加傾向にある。
 - ◆ 米国関税措置に関わる影響も懸念されたが、条件変更等の件数も増えておらず、影響は出ていない。
- (以上、金融機関)

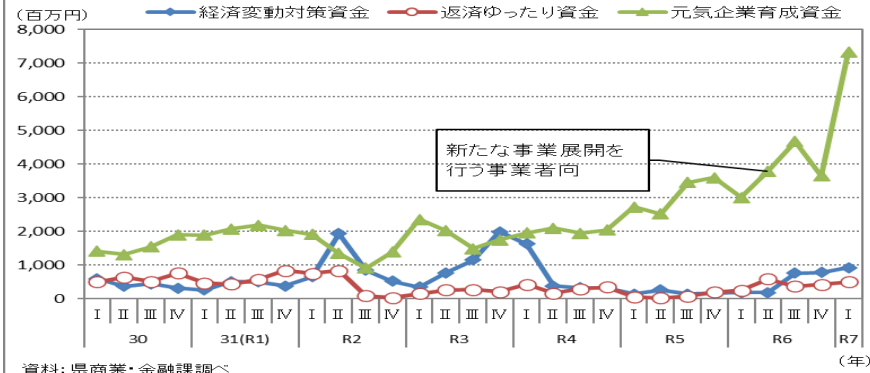
資金繰りー2

- 4－7月期の資金繰りDI見通しは▲13.4で、前期比1.0ポイント増加となった。同借入難易感DI実績は▲2.9で、前期比▲3.1ポイントとなった。
- 1－3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比390.2%、返済ゆったり資金で同101.6%増加した。元気企業育成資金では同143.7%増加と12期連続で増加した。
- 3月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が9件で前年同月比▲90.1%、金額は201百万円で同▲92.6%となった。
- 3月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は97件で前年同月比11.5%増加、金額は1,002百万円で同9.2%増加した。

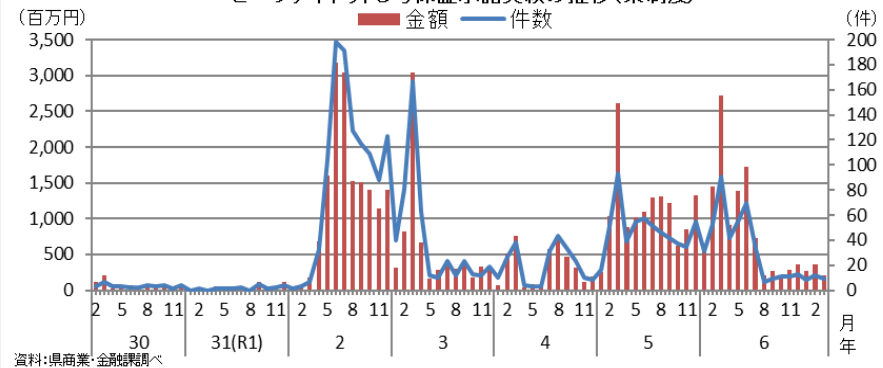
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



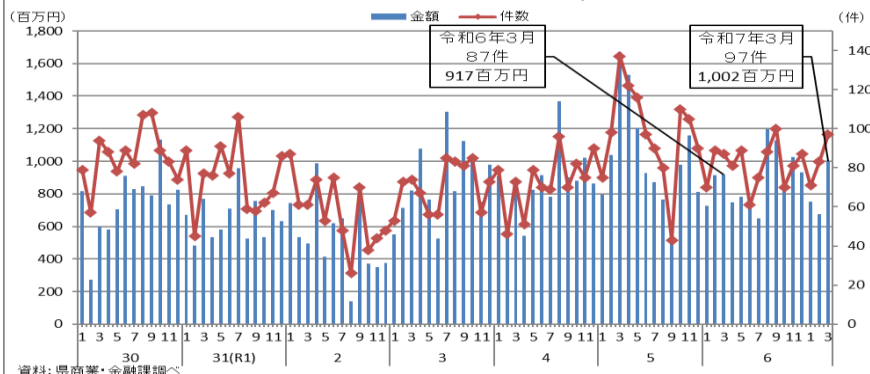
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

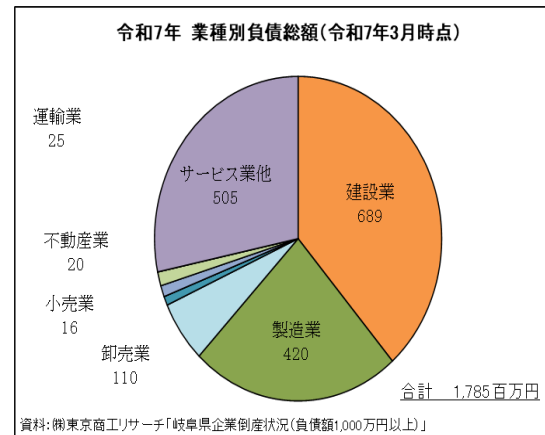
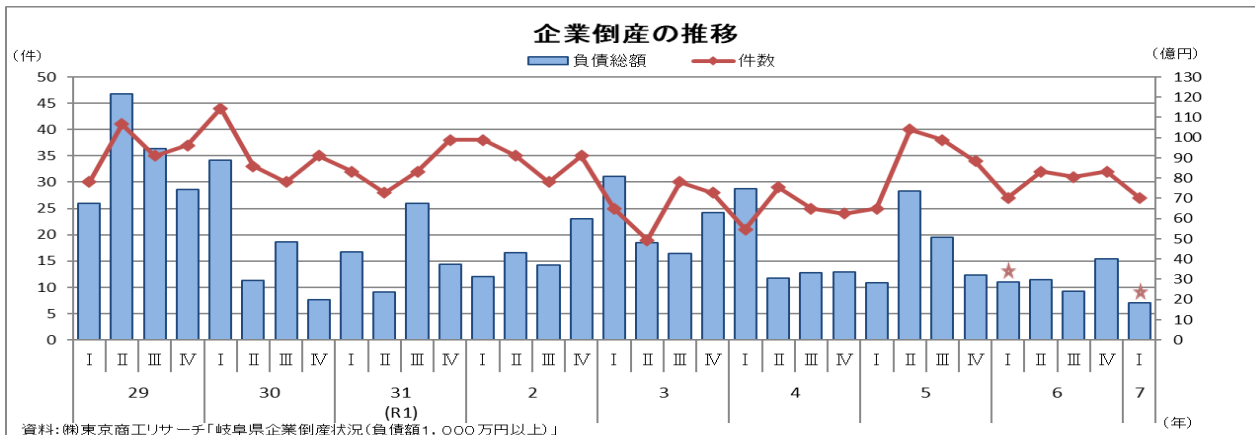
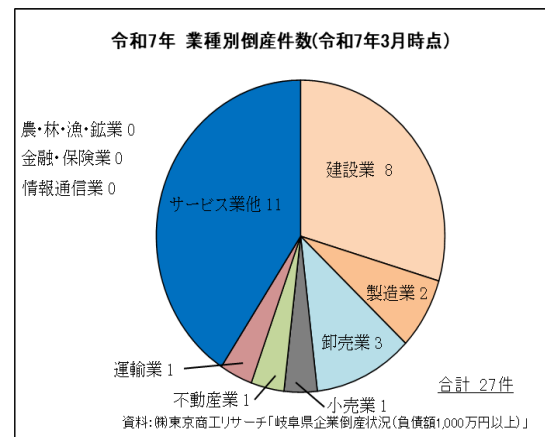
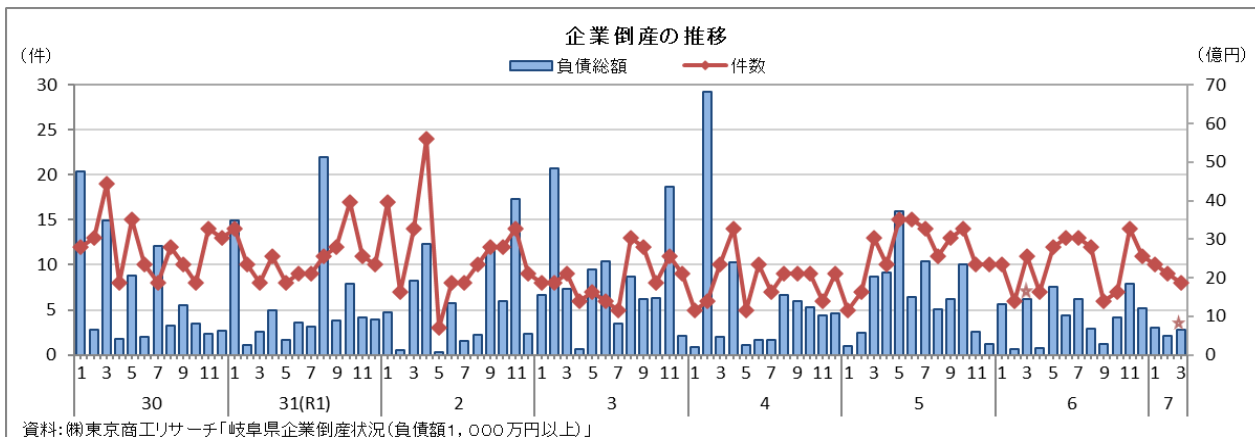


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○3月単月の倒産件数は8件、負債総額は前月比168百万円増加の650百万円となった。
○令和6年3月は負債総額1億円以上の倒産が4件発生したのに対して、令和7年3月は同倒産1件となった。負債総額は前年同月比▲725百万円となった。



専門機関の分析(東京商工リサーチ・4月7日時点)

- ◆ 経済情勢については、依然として物価高や人件費上昇に苦しむ企業は多く、価格転嫁が想定より進まない企業の収益環境は悪化している。賃上げと価格転嫁は一体の関係にあり、安定した収益確保が難しい企業は賃上げ原資を確保できず、人手不足が一段と深刻化する悪循環に陥っている。

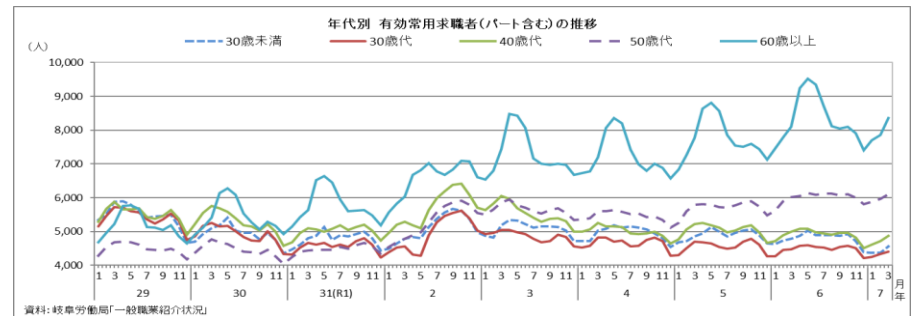
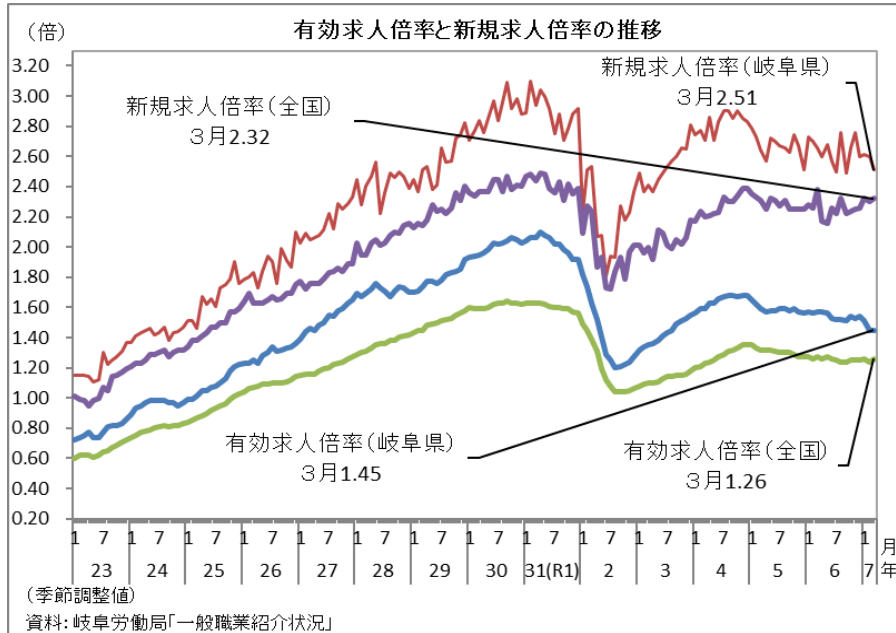
雇 用

○3月の有効求人倍率は1.45倍と、前月比同率となった。

○3月の新規求人倍率は2.32倍と、前月比▲0.09ポイントとなった。

○3月の雇用保険受給者人員は、前月比▲2.5%となった。

○有効常用求職者は、50歳代では25ヶ月連続、60歳代では26ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 工業高校や商業高校などでも進学率が上がっているため、技能職としての高卒採用が年々厳しさを増している。(輸送用機械)
- ◆ ワークエンゲージメント向上の取組みとして、年次休暇の取得を平均12日から14日以上にしたいが、実現するには業務のIT化を進める必要がある。(輸送用機械)
- ◆ 日本人派遣社員のコストが増加しているため、外国人派遣社員を検討している。(はん用)
- ◆ 人事労務担当者の世代交代要員の求人を展開中だが、経験者が現れずに困っている。(プラスチック製品)
- ◆ 4月から勤務時間をフレキシブルに多様化し、子育て世代に関わらず導入している。(輸送用機械)
- ◆ 子育て支援については法定基準以上の取組みを実施している。(輸送用機械)

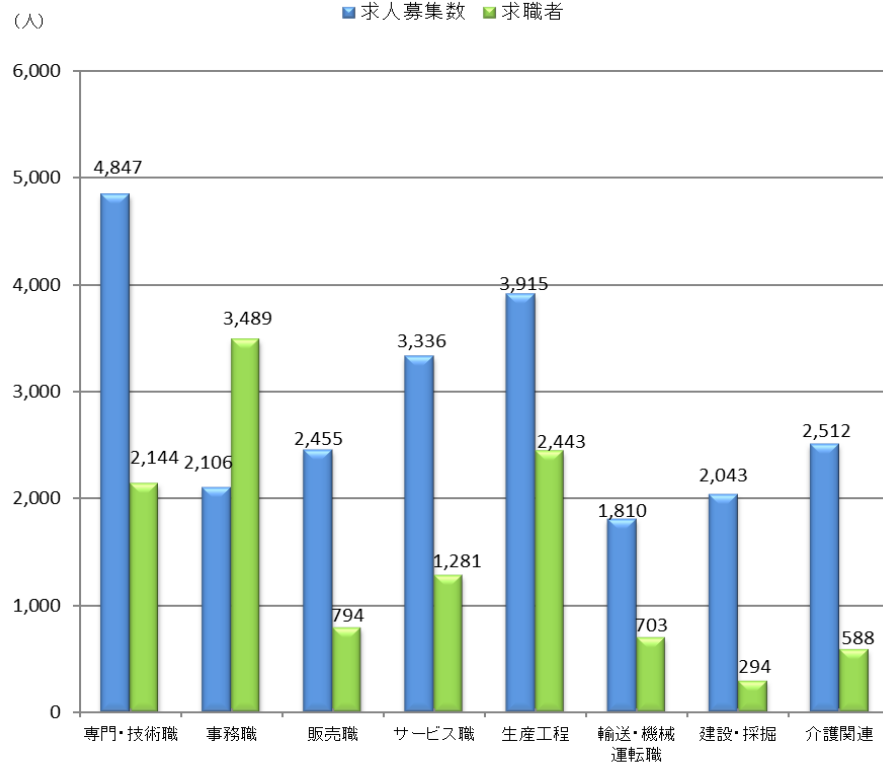
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で6.95倍、介護関連で4.27倍、販売職で3.09倍、サービス職で2.60倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.60倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

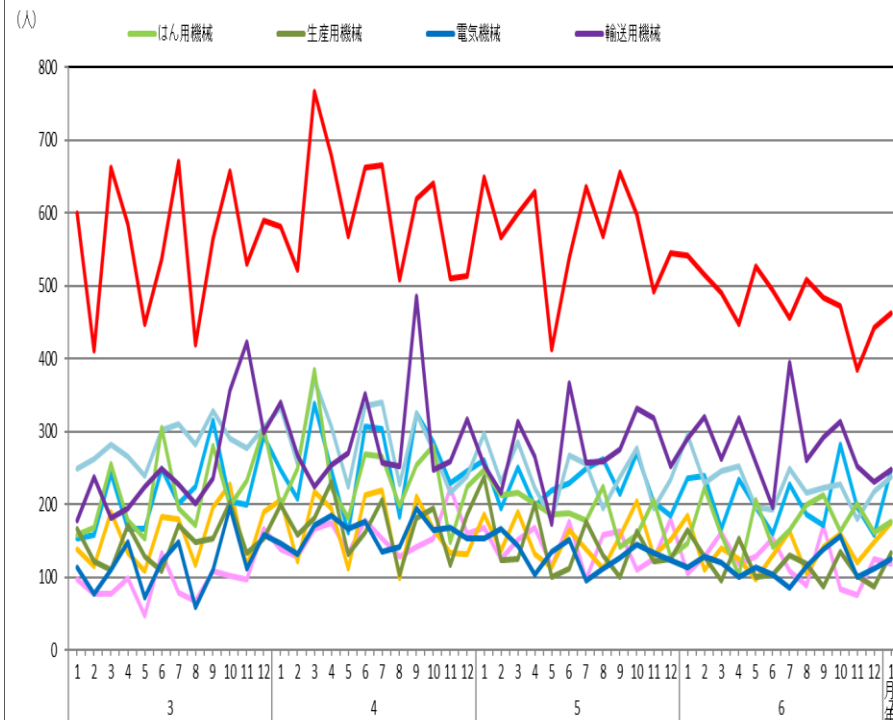
○2月の主要産業別の新規求人数は、はん用で前年同月比27.8%、プラスチック製品で同22.9%、窯業・土石で同5.4%増加、生産用機械で同率となった一方で、繊維工業で同▲32.9%、食料品製造で同▲23.9%、電気機械で同▲12.4%、輸送用機械で同▲7.6%、金属製品で同▲2.8%となった。

3月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



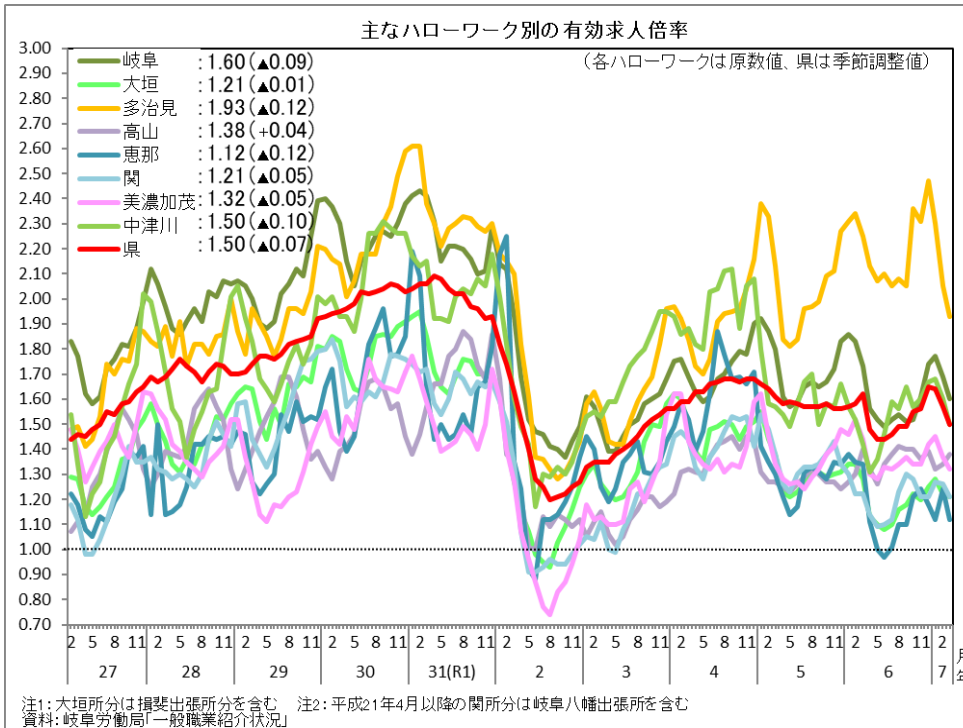
資料: 岐阜労働局「求人・求職」バランスシート

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)



○3月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜、大垣、多治見、恵那、関、美濃加茂及び中津川で前月比増加となった。

現場の動き(前月比)※1月時点

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

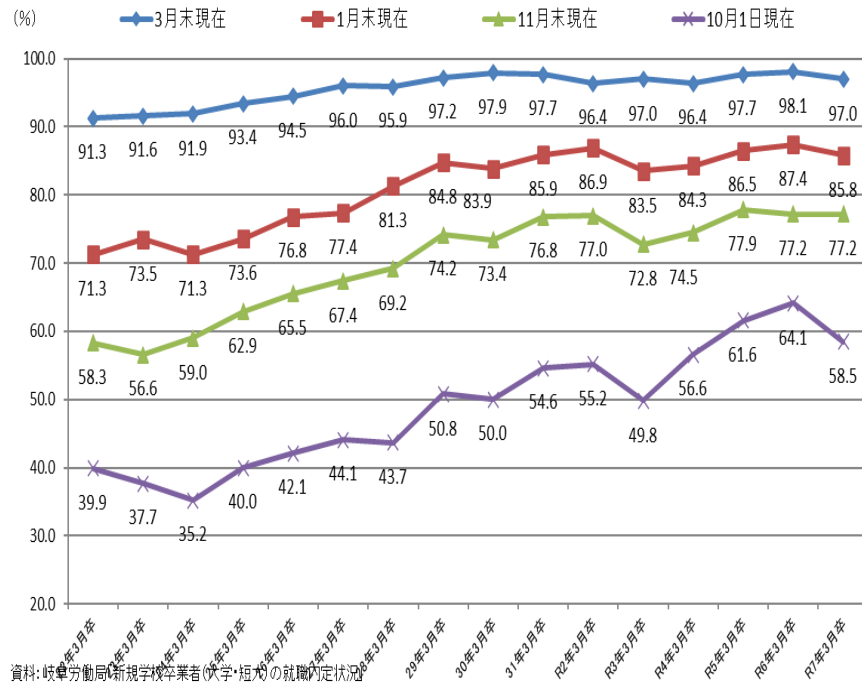
- ◆恵那、関、美濃加茂、中津川で混雑している、岐阜、大垣でやや混雑している、多治見、高山で同じくらいの状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

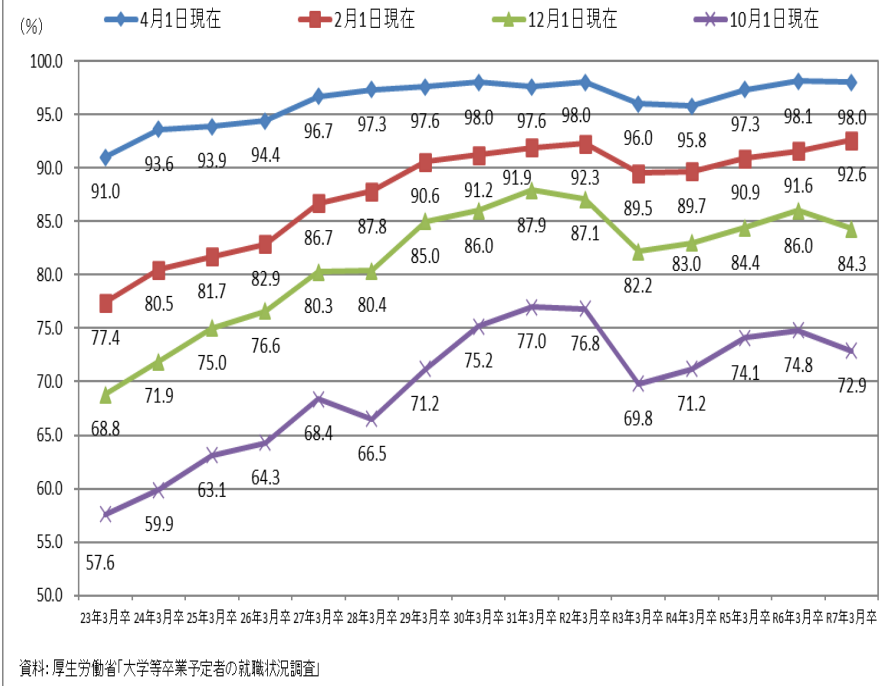
○岐阜県の令和7年3月末現在の大学・短大卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は、97.0%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月1日現在の大学卒業者(令和7年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント上昇した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2025卒、2026卒の動きなど)

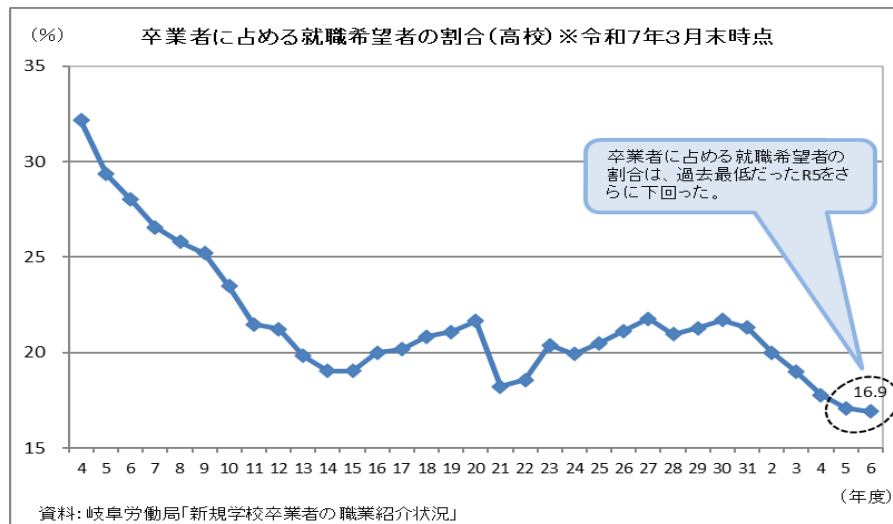
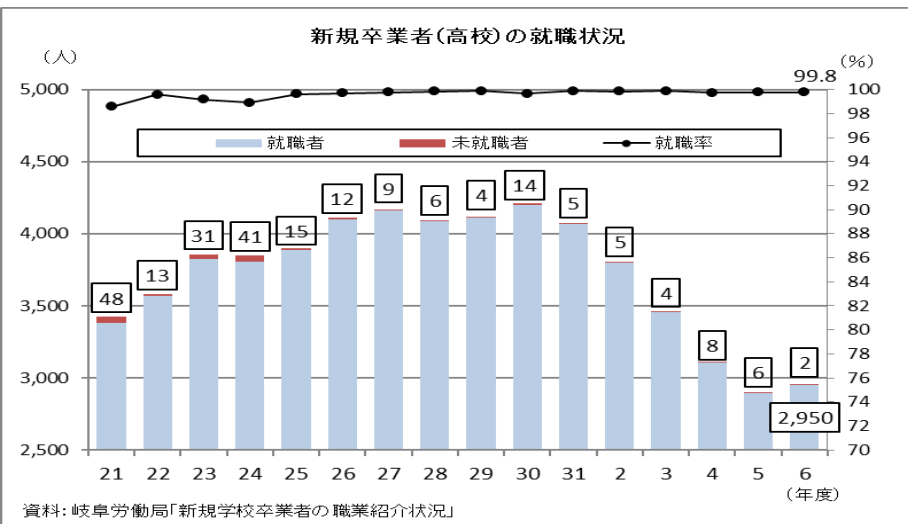
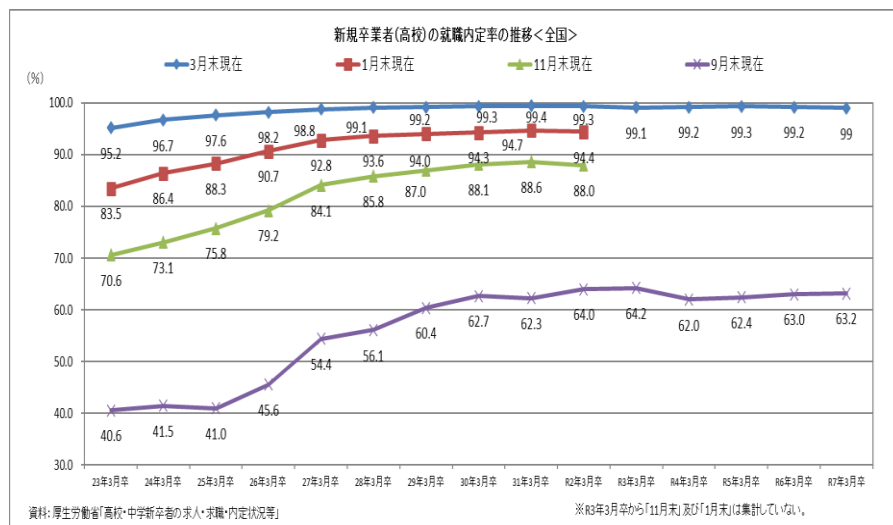
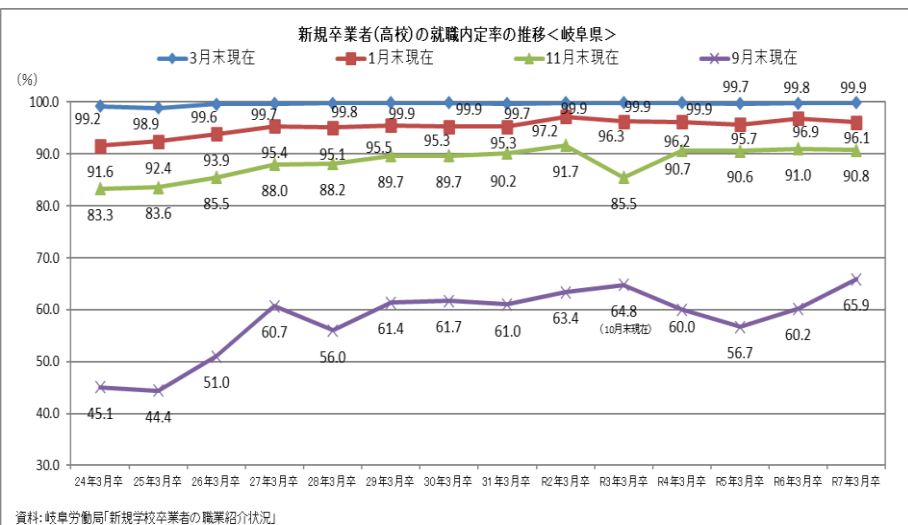
<大学へのヒアリング>

- ◆ 26年卒からの相談は増加している。エントリーシートの書き方や模擬面接、内々定の承諾先についての相談が多い。
 - ◆ 27年卒からの相談も若干ある。就活に関する抽象的な相談が多く、具体的なエントリー企業に関する相談はまだない。
- (以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和7年3月末現在の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.1ポイント上昇した。

○全国の令和7年3月末時点の高校卒業者(令和7年3月卒業)の就職内定率は99.0%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントとなった。



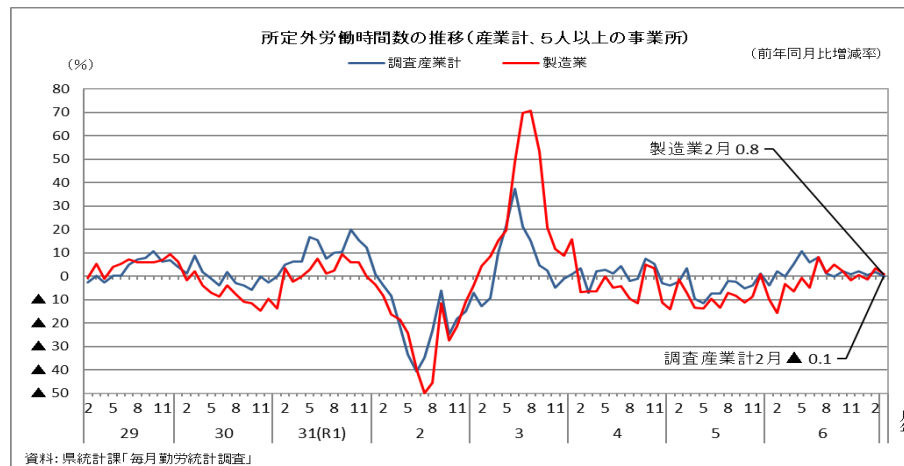
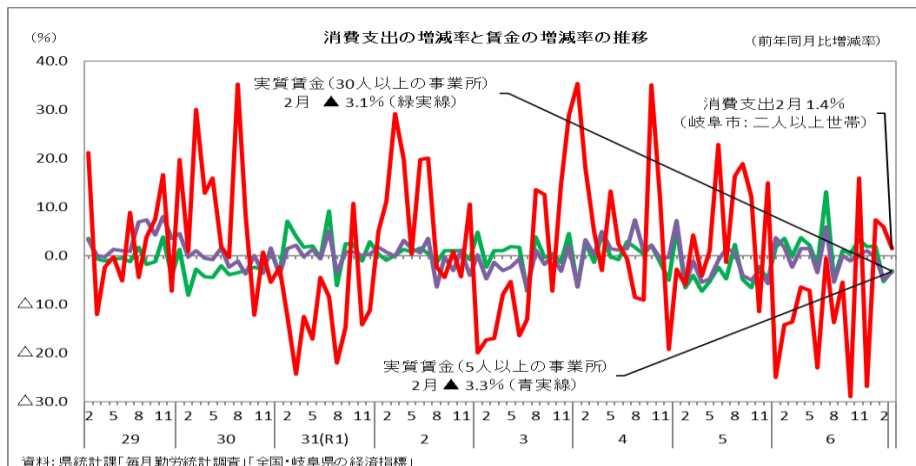
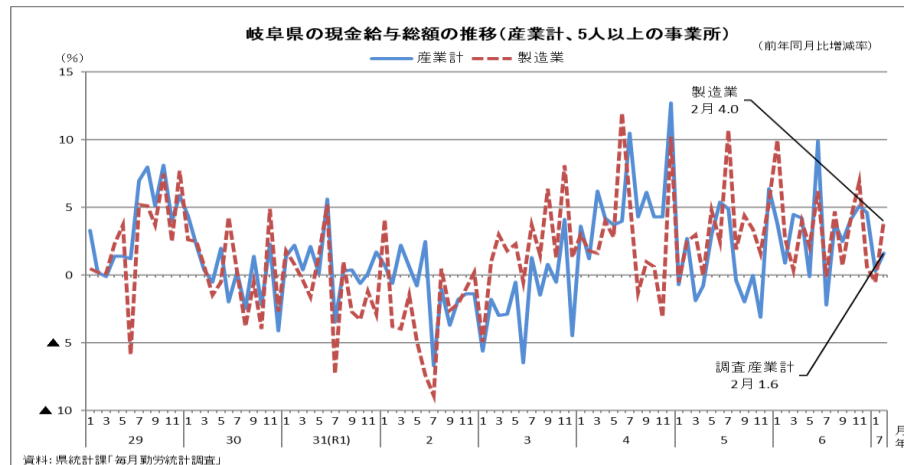
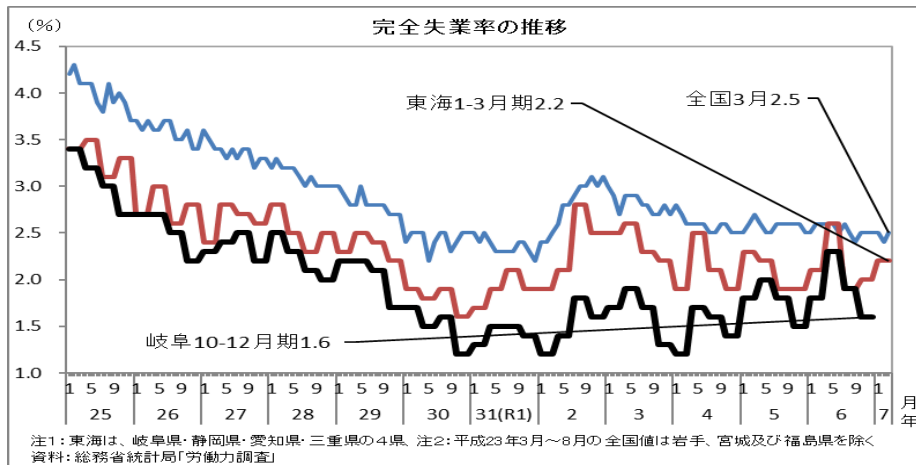
雇 用(完全失業率等)

○全国の3月の完全失業率は2.5%で前月比0.1%上昇となった。岐阜県の10-12月期の平均は1.6%で前期比▲0.3%となった。

○2月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比1.6%、製造業で同4.0%上昇となった。

○2月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲3.1%、5人以上で▲3.3%となった。2月の消費支出については同1.4%増加となった。

○2月の所定外労働時間数は前年同月比で0.8%増加となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、2月の鉱工業生産指数は前月比2.8%上昇となった。ヒアリングでは、自動車関連が本来の売上に戻ってきており、緩やかな回復傾向にあるとの声が聞かれる一方で、自動車部品自体の受注量が年々減少している上に、発注元が大ロットと同じ単価を小ロットにも求めるような現状であり、自動車業界の見通しは陰しいとの声が聞かれた。
- 地場産業は、2月の鉱工業生産指数は、木材・木製品、繊維工業、パルプ・紙で上昇した。ヒアリングでは、値上げによる販売単価の上昇を背景に、売上は前年同水準だが収益面は増益決算となる見込みとの声が聞かれる一方で、コロナ禍で需要のあった商品が5類移行とともに販売が減少、売上はダウントレンドであるとの声が聞かれた。
- 設備投資は、3月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比11.4%増加となった。ヒアリングでは、大きな動きはなく、必要最低限の設備投資については実施している印象との声や、大型の成型機を導入したことにより、新たに3社との取引が増えたとの声が聞かれた。
- 個人消費は、3月の販売額は、全体で前年同月比2.3%増加となった。ヒアリングでは、販売促進企画を重ねつつ、共用部での催事販売や体験イベントの実施が功を奏し、売上・客数で前年を上回ったとの声が聞かれた。
- 観光は、インバウンド客の増加等により、観光客数は前年同月と比較しプラスとなるなど、回復傾向にあり、観光客数はコロナ前と同水準、宿泊者数は約9割まで戻ってきている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、3月の制度融資実績は、金額で8ヶ月連続で減少となった。米国関税措置に関わる影響も懸念されたが、実際の影響は出ていないとの声が聞かれた。
- 雇用面は、3月の有効求人倍率は1.45倍と前月比同率となった。ヒアリングでは、工業高校や商業高校などでも進学率が上がっているため、技能職としての高卒採用が年々厳しさを増しているとの声や、日本人派遣社員のコストが増加しているため、外国人派遣社員を検討しているとの声、ワークエンゲージメント向上の取組みとして、年次休暇の取得を平均12日から14日以上にしたいが、実現するには業務のIT化を進める必要があるとの声が聞かれた。